

## 行動規範

スティーブストン日本語学校 (SJLS) は、全ての生徒、スタッフ (教師、オフィス・スタッフ) 並びに学校関係者に安全且つポジティブな教育の場を提供する義務があります。

このためには、学校内だけでなく学校に関連する場での行動規範が全員に適用されます。

共に学び、活動するにあたり、私たちは：

1. 教師、生徒、その他学校コミュニティの人々を尊重します。
2. 安全で、思いやりがあり、礼儀正しい振る舞いをします。
3. 学校コミュニティの誰にでも、攻撃的で罵倒するような言い方をしたり、印刷物や電子メディアを使って脅かしたり、怯えさせたり、暴力を振るったりしません。
4. 学校内には、武器、危険物、アルコール類、薬物を持ち込みません。
5. スティーブストン日加文化センターの建物と学校の所有物や備品を大切に扱い、それらに敬意を示します。(大切に扱う気持ちを持ちます)
6. 学校内での禁煙の規則を尊重します。

これらの行動規範への違反行為には、介入指導、懲戒措置を取ることになります。

### 生徒への期待

行動規範に示されているように、生徒たちは、教師、他の生徒、保護者、学校コミュニティのゲストに敬意を示すことが求められています。悪口を言ったり、ののしったり、叩いたり、押したり、無礼な表情をすることは許されません。

トラブルを起こしている生徒への学校側の対処は、関連している要因によって異なります。教師が、安全かつ有意義な学習環境を提供することが困難もしくは不可能になるような生徒への措置は、次のステップをとることがあり得ます。

1. その生徒の父兄 (保護者) には、行動規範を破ったという最初の通知が文書にて用意されます。
2. 最初の通知の後、その問題が解決されない場合は、保護者は二度目の通知を文書にて受け取るようになります。更に、教師と校長はその保護者を積極的に巻き込んで、生徒の態度を改めるために、何らかの改善策を立てることになります。
3. 学校側が保護者と協力して、出来る限りの努力をいたします。しかしながら、これらの努力の後も生徒の態度に改善が見られない場合は、その生徒に学校を辞めるように求めます。SJLS は、行動規範を繰り返し破る生徒を退学処分する権利を保有します。

### 保護者への期待

- 生徒が学校の行動規範に従うように励まし、サポートすること。
- 生徒が日本語とその文化を学ぶ教育の場でのパートナーであり、積極的に関与すること。
- 生徒の進捗状況と振る舞いについて、教師と率直で継続的な対話の機会を設けること。

(原文の最後に、Code of Conduct を読んで同意することを示すイニシャルを書き込んでください)